

大阪府立母子保健総合医療センターにおける 感染症合併妊婦調査

大阪府立母子保健総合医療センター

末 原 則 幸

1989～1991年の間に当院で分娩した5080例について、感染症を合併した妊婦について調べた。

妊婦全員にスクリーニングしているものは、梅毒、風疹IgM抗体（1990年後半から）、HBS抗原、GSSである。その他は必要に応じて検査している。

GBSが最も多5.2%に、HBウイルスキャリアが39例(0.8%)にみられた。

大阪府立母子保健総合医療センター

暦年	1989	1990	1991	計
分娩数	1602	1772	1706	5080
梅毒	5	8	2	15
風疹り患	(AA1)2			
風疹IgM(+), IgG				
性器ヘルペス	1	5	1	7
口唇ヘルペス	3	2	0	5
りんご病				0
りんご病IgM(+)				
水痘	3	1	2	6
带状疱疹	1			1
HBキャリアー				
HBs抗原(+)	13	13	13	39
HBe抗原(+)	12	15	8	35
HIV	0	0	0	0
HTLV-1キャリア	5	2	2	9
HCVキャリア			3	3
クラミジア抗原陽性	5	1	1	7
クラミジアIgA(+)	1			1
GBS	54	93	115	262
トキソプラズマ抗体陽性				
サイトメガロウイルス				
淋菌	0	0	1	1



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



大阪府立母子保健総合医療センターにおける感染症合併妊婦調査

大阪府立母子保健総合医療センター

末原則幸

1989～1991年の間に当院で分娩した5080例について、感染症を合併した妊婦について調べた。

妊婦全員にスクリーニングしているものは梅毒風疹IgM抗体(1990年後半から)HBS抗原、GSSである。その他は必要に応じて検査している。GBSが最も多5.2%にHB曲ウイルスキャリアが39例(0.8%)にみられた。